

「心を動かす」商品・サービスをつくる。

福井デザインアカデミー2026 受講者募集開始

デザインセンターふくいは、県内企業を対象にしたデザイン講座「福井デザインアカデミー2026 ブランディング&商品開発講座」の受講者を募集します。

本講座では、デザインを学んだことがない方、デザイン未経験者を対象にデザインの意味やデザイナーの考え方を指導し、半年間に渡る実践的なデザイン演習を通して企画提案力を身につけていただきます。

「商品開発の方法がわからない。」「商品の魅力が伝わらない。」など悩みを抱えている県内の中小企業・小規模事業者の皆様に広報いたしたく受講者募集にご協力賜りますようお願い申し上げます。

記

<概要>

名称：福井デザインアカデミー2026 ブランディング&商品開発講座

日時：令和8年7月10日～12月11日（全13回）

場所：福井県中小企業産業大学校 他

対象：福井県内に在住もしくは事業所がある方

受講料：50,930円（うち消費税10% 4,630円／全13回分）

定員：20名

お申し込み方法：「デザインセンターふくい」のホームページからエントリーします。

<https://www.sankan.jp/fmc/newlineup/fda2026/>

申込期限：令和8年7月2日（木）

◎開講後の取材日を2案ご提案します。

1案 7月3日（金）13:30～「講座説明会」「良いデザインとは」の講義とワークショップを実施

会場：福井県中小企業産業大学校 第1中教室

2案 7月10日（金）13:30～「開講式」「デザイン思考」の講義とグループ演習を実施

会場：福井県中小企業産業大学校 特別教室

<添付資料>

- ・広報チラシ
- ・報道記者用の資料

■本件に関するお問い合わせ先■

公益財団法人 ふくい産業支援センター（デザインセンターふくい）デザイン振興部 担当：大橋音寧

電話：0778-21-3154 / e-mail：dcf@fisc.jp

福井デザインアカデミー（以下 FDA）とは

1999年に福井県主催のデザイナー養成講座として開講しました。当初はデザイナー育成を目的としていましたが、2004年からデザインマネジメント講座にリニューアルしました。毎年、事務局と講師が話し合い内容の見直しを図りながら改良しており、累積で450名以上の修了生を輩出しています。

FDAの講座では、デザインのコセツやデザイナーの考え方を一から学びます。しかし「意匠」「図案」のスキルを身につける講座ではありません。デザインすることの意味を知り、実践的な企画作りの演習を通して「デザインがわかる人」を育成します。現場で生きるマーケティングの基礎を学び、演習ではフレームワークを駆使した商品開発のプロセスを経験します。

本年度のFDAは、7月上旬から12月までの約半年間に渡り、全13回で実施します。カリキュラムは、3名の専任講師により大きく「分析・検証」「企画立案」「価値の伝達」の3フェーズに分かれています。「分析・検証」のフェーズでは、マーケティングを専門とする講師によりデザインの概念、商品開発の基礎を学び、企業の特徴や狙っている市場を分析して課題を見つけ、テーマを決定します。「企画立案」は、プロダクトデザイナーの講師が担当。テーマに沿った企画書を作り上げるために、商品を買っていただきたい顧客像を明確にします。その顧客像からライフスタイルを創造しアイデア展開を図ります。「価値の伝達」は、グラフィックデザイナーの講師が担当。企画書の内容を最終顧客にわかりやすく、簡潔に伝える術を身につけます。

各フェーズを経て課題解決に必要な一連のデザインプロセスを体験。最後に出来上がった成果品は、半年間の賜物です。第一線で活躍するプロのマーケティングディレクター、デザイナーが指導するFDAの現在のスタイルは、20年以上の実績があります。





株式会社キッソオ 取締役 吉川裕美さん

テーマ「世界にひとつアセテートの魅力に触れるテーマパーク
KISSO LAND」

最初からやりたいことは決まっていたが、どう表現してどうアプローチしていくかが明確になり基本的考え方を学べました。鷹屋先生の講義はすべてにおいて大変ためになり、平田先生の講義内容は以前学んだことの復習となり、迷路になりかけたところで、再度、鷹屋先生の講義で原点に立ち返り、左合先生にスパッとご指摘いただくことで「伝える」ことの難しさを感じつつも、進む方向性をきっちり決めることができました。先生方だけでなく、同じグループ内で会社を行き来したり意見を交換できたことが初めてのことでしたし、いいメンバーに恵まれ、出会えたことがありがたいです。



茂右衛門農場 上坂 季美好さん

テーマ「ピロール玄米 食べる米ぬかシリーズ」

2回目となる受講は、オンラインではなく初リアルで緊張しましたが、初めてのチーム方たちともスムーズに会話ができる雰囲気を作ってくださいました。「方向性ができている」と言ってくださったことで、迷いが消えてまっすぐに取り組む姿勢ができました。



ハピリンモール株式会社 友兼ゆいさん

テーマ「恐竜を探す、夏の冒険 ジュラクエスト」

研修では、理論だけでなく実際の制作を通して学ぶことができ理解が深まりました。今回制作したブランディングブックでは、ハピリンでのイベントを体験する子どもとその保護者を明確なターゲットとして設定し、子どもには「探検・発見・ワクワク感」を、保護者には「安心感・見守りやすさ・参加しやすさ」といった価値が伝わるよう構成や表現を工夫しました。今後はイベント企画や広報物制作においても来場者が体験を具体的にイメージできるような構成や表現を意識し、ハピリン自体が来館目的となるような企画づくりに取り組んでいきたいと思います。今回の研修を通して「伝える」ではなく「伝える」ことの大切さを改めて実感しました。



株式会社レクリッド 代表取締役 梅田佑斗さん

テーマ「MiNiPiC」

商品開発のことだけでなく、企画から届け方まで包括的に学べる講座でした。鷹屋先生、平田先生、左合先生と、それぞれのフェーズを通してプロフェッショナルな先生方に丁寧に教えていただきました。良い商品だけでも上手くいかないし、マーケティングスキルだけあれば良いというわけでもない。商品を提供していく過程の中で、どうしても売り手側の目線だけになってしまいがちですが、同じグループのメンバーからも様々な意見をいただき、一歩立ち止まって考えるきっかけになりました。この講座を通じて一番大きかったのは、ただ商品を届けるだけでなく、自分たちが提供する価値とは何かを言語化できたことです。一貫して顧客起点に物事を考えることの大切さを学んだ講座でした。想像していたよりも何倍も充実した時間になり、参加できてよかったです。

デザイン未経験者歓迎

デザイン講座と聞くと敷居が高く感じるというご意見を耳にします。FDA は、デザインの予備知識や経験が必要な講座ではありません。「デザインとは?」といった基本からお話します。これまでもデザインに触れたことがない多くの業種、部署の方々にご参加いただいています。大企業向けのメソッドではなく、福井県の中小企業、小規模事業者に最適化した内容で、とてもわかりやすくお伝えします。経営者の皆様こそ、デザインは必要だと考えています。

仕事場と繋がる実践型の演習

FDA の最大の特長は、自社で抱える課題を演習のテーマとして持ち寄っていただくことです。半年間の演習を通して第一線で活躍するプロのデザイナー、マーケッターによる指導のもと、課題の本質を見つけ出し解決策を導きます。修了後、講座の成果（企画案）は、即現場で生かすことができる実践型の演習です。

※デザインセンターふくいでは、修了後も商品開発をサポートする各種事業を取り揃えています。

グループワークによる演習

演習は、受講生同士のグループで進めます。複数のグループを作り、各自のテーマについてブレインストーミングをしたり、助言や情報提供を相互に行い力を合わせて取り組みます。利害関係のない、業種も立場も違う仲間と半年間かけて培った繋がりは、修了後も続きます。

SNS の活用

受講中、SNS を活用して事務連絡をしたり情報交換します。FDA 専用のLINE オープンチャットグループで講師や受講生とコミュニケーションをとれるようにしています。また、事務局スタッフが講座の記録動画を撮影しますので、やむを得ず欠席した場合も YOUTUBE（FDA 受講者のみ限定公開）から聴講可能です。

FDA では、2012 年以來、facebook を使ったコミュニティ作りを行っています。現在、facebook の非公開グループ「FDA」には、240 名ほどの修了生、講師陣、過去 FDA に登壇しゲストデザイナー等が登録されています。自社の新しい取り組み、活動報告等、自由に情報交換することができます。

YOUTUBE で R7 年度 FDA 修了生のインタビューを配信しています。



<お問い合わせ先>

事務局：デザインセンターふくい（公益財団法人ふくい産業支援センターデザイン振興部）

住所：越前市瓜生町5-1-1 福井ものづくりキャンパス2階

Tel：0778-21-3154 担当：大橋

Mail：dcf@fisc.jp、HP：https://www.sankan.jp/fmc